【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年10月18日(2023.10.18)

【公開番号】特開2023-90840(P2023-90840A)
【公開日】令和5年6月29日(2023.6.29)
【年通号数】公開公報(特許)2023-121
【出願番号】特願2023-73359(P2023-73359)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和5年10月10日(2023.10.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技者が操作可能な操作手段と、
第１始動手段への第１始動条件又は第２始動手段への第２取得条件の成立に基づき判定用情報を取得する取得手段と、
前記判定用情報に基づき特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段の判定結果に応じて変動表示を実行する演出制御手段と、
遊技状態として通常状態と、前記通常状態より有利な特定状態とを有し、
前記演出制御手段は、
前記変動表示において前記操作手段を振動させる振動演出を実行可能であり、
前記振動演出は、
所定のタイミングで実行される第１振動演出と、
前記第１振動演出とは異なるタイミングで実行される第２振動演出と、を含み、
前記第２振動演出は、
所定のタイミングで実行される第１演出と、
前記第１演出とは異なるタイミングで実行される第２演出と、を含み、
前記第１始動条件の成立に基づき取得された前記判定用情報の判定結果に応じた前記変動表示が前記通常状態において実行される場合には、前記第１振動演出と前記第２振動演出とを実行可能であり、
前記第１始動条件の成立に基づき取得された前記判定用情報の判定結果に応じた前記変動表示が前記特定状態において実行される場合には、前記第１振動演出の実行を制限するが、前記第２振動演出は実行可能であることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記課題を解決するため、本発明の遊技機（１）によれば、遊技者が操作可能な操作手段（演出ボタン１７、演出レバー）と、第１始動手段への第１始動条件又は第２始動手段

への第２取得条件の成立に基づき判定用情報を取得する取得手段（主制御基板１１０）と、前記判定用情報に基づき前記特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段（主制御基板１１０）と、前記判定手段の判定結果に応じて変動表示を実行する演出制御手段（演出制御基板１３０）と、遊技状態として通常状態と、前記通常状態より有利な特定状態とを有し、前記演出制御手段は、前記変動表示において前記操作手段を振動させる振動演出（先読み振動演出、セリフ予告演出、カットイン演出、決め成功演出等）を実行可能であり、前記振動演出は、所定のタイミングで実行される第１振動演出（先読み振動演出）と、前記第１振動演出とは異なるタイミングで実行される第２振動演出（セリフ予告演出、カットイン演出等）と、を含み、前記第２振動演出は、所定のタイミングで実行される第１演出と、前記第１演出とは異なるタイミングで実行される第２演出と、を含み、前記第１始動条件の成立に基づき取得された前記判定用情報の判定結果に応じた前記変動表示が前記通常状態において実行される場合には、前記第１振動演出と前記第２振動演出とを実行可能であり、前記第１始動条件の成立に基づき取得された前記判定用情報の判定結果に応じた前記変動表示が前記特定状態において実行される場合には、前記第１振動演出の実行を制限するが、前記第２振動演出は実行可能であることを特徴とする遊技機。